0

はじめに

- 1 そのことば 伝わってますか?
- 2フラッシュ型教材とは
- 3フラッシュ型教材の作成

困っているのは…

学習がわからず困っている?







子どもがどこで困っている?

何に困っているかを見抜き、 どうすれば困らなくなるか考える

第9章 特別支援教育における教育の情報化

長い話し言葉での指示よりも,**短い言葉** による指示と併せて、視覚的な指示と教 **材提示が効果的**なことがある。そこで, 児童生徒の興味を引き付ける**視覚支援の** 情報機器の活用が考えられる。

教育の情報化に関する手引(文科省) P.200

フラッシュ型教材の例

6











中学校

計算



sunny 英単語

1600年

歴史年号

そのことば 伝わってますか?

学習が分かる 学習が分からない 指示・ 指示· 発問·説明 発問·説明 が分かる が分からない 内容が 内容が 分かる 分からない

分かると 自分で考えて 動ける

① 肯定的な表現

② 分かるための手がかり

③ 注目できる

④ 区切りがわかる



分かりやすい

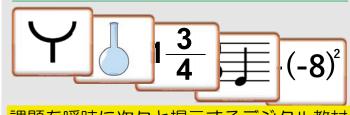
これでおしまい

ここに注目!

次は何だっけ

○○しよう!

フラッシュ型教材とは?



課題を瞬時に次々と提示するデジタル教材

「教育の情報化に関する手引(文部科学省)」より

フラッシュ型教材を作成する

7

- テーマを決める
- 2 PowerPointを起動する
- 3 指示のページをつくる
- 各ページをつくる 4
- スライドショーで確認する 5

ポイント

- ・漢字の読み
- ・道具や器具の名前
- ・地図記号
- ・英単語

など一問一答で答えられるもの

Copyright 2020 © Okayama Prefectural Education Center

3 指示のページをつくる

10

- ・指示は分かりやすい言葉で、短く伝えま しょう。
- ・できるだけ、指示は一つ。複数のことを指示すると印象が薄まります。

おおきな こえで いいましょう。

Copyright 2020 © Okayama Prefectural Education Cente

4 各ページをつくる②

12



Copyright 2020 © Okayama Prefectural Education Center

5 フラッシュ型教材選び・作成のコツ 1

答えが一つ!

→ 声がそろう、メリハリが生まれる

問題順は「易」から「難」

→ 子どもの実態を想定し、答えを予測

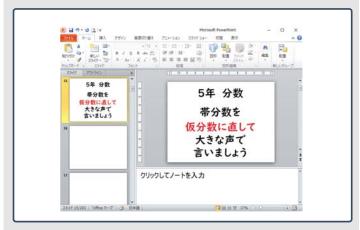
繰り返し、確実に習得!

→「できない…」が「できる!」に変わる

Copyright 2020 © Okayama Prefectural Education Center

4 各ページをつくる①

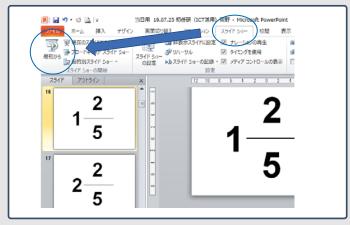
11⁰



Copyright 2020 © Okayama Prefectural Education Center

5 スライドショーで確認する

13



Copyright 2020 © Okayama Prefectural Education Centr

フラッシュ型教材のよさ

15

時間は

 $5\sim\!10$

分

○ 授業のようすは

・テンポよく、変化に富んだ繰り返し学習

・明るい声とほめ言葉で活気があふれる

○ 児童生徒は

・顔が上がり、意欲がわく

・繰り返しによって、基礎基本の定着

・自信をもって声が出せる

○ 授業者は

- ・教材の作成、修正、保存、共有が容易
- ・児童生徒をイメージして

すぐに答えられる問題を作る!→授業力UP!

Copyright 2020 © Okayama Prefectural Education Center

Copyright 2020 © Okayama Prefectural Education Centre

はじめに

- 1 そのことば 伝わってますか?
- 2フラッシュ型教材とは
- 3フラッシュ型教材を作成する

Commission 2020 © Observer Professional Education Contra